



日耳鼻医学会 F A X ニュース NO 200

平成25年4月5日 発行 (特)日本耳鼻咽喉科医学会 E-mail jimu@jenti.or.jp HP http://www.jenti.or.jp
〒104-0031 東京都中央区京橋2-11-8 全医協連会館5F FAX 03-5524-5228 TEL 03-5524-5230

平成25年度定時代議員会・総会予告

下記の通り定時代議員会ならびに総会を開催致します。

日時:平成25年6月30日(日)午後1時~5時

会場:八重洲富士屋ホテル (3階赤松の間&けやきの間)

会次第

第1部 代議員会・総会

第2部 特別講演「医療と消費税—消費税は誰が負担すべきか」
税理士 船本智睦先生(京都紫明税理士法人)

第3部 懇親会 (議案書は6月中旬に発送予定)

「第38回臨床家フォーラム」ご案内

期日:9月15日(日)・16日(月・祝)

会場:コクヨホール(品川駅近く)

分科会:9月15日(日)午後

小児の睡眠時無呼吸・山梨大医学部小児科 杉山剛先生

嚥下障害の診療が1ドライン・部坂(東京)・西山(神奈川)先生

耳鼻科のダヴィンチ手術・東京医大耳鼻科 伊藤博之先生

めまい・耳鳴り・厚生年金病院 石井正則先生

実習 聴力検査・嚥下内視鏡検査

全体集会:9月16日(月・祝)午前中

「福島原発災害について」日本医師会常任理事 石井正三先生
他2題予定

エスカーションは15日午前に東京スカイツリー見物予定

風疹患者2000人超、東海や九州にも拡大

大流行の恐れも

国立感染症研究所は3月26日、今年の全国の風疹患者数が21日までに累計2000人を超えたと発表した。全数報告の対象になった2008年以降で最多だった昨年1年間の2353人に迫る勢いで流行が拡大している。同研究所によると、21日現在で患者は2021人。首都圏や大阪、兵庫で目立って多く、東海や九州などほかの地域にも広がりはじめた。推計で約3万9000人の患者が出た04年以来の大流行となる恐れがある。

今回の流行では患者の4分の3が男性。年代別では20代~40代男性と20代女性が多い。ワクチンの接種機会がなかったことが背景にあるとみられ、家庭や職場などで感染を広げてしまうことが懸念されている。今年に入って、ワクチン接種歴のない母親からのCRSの報告が2例あるほか、脳炎を合併した25歳男性の重症例もあった。

風疹ワクチンは現在、男女とも1歳と小学校入学前の計2回が予防接種法に基づく定期接種になっている。接種機会がなかった人のために、今月末までは中学1年と高校3年が無料で接種できる。【共同】3/26

「症状重い」43%

花粉症で気象会社調査

今春の花粉症について、気象情報会社ウェザーニューズ(東京)が同社携帯電話サイトの利用者らに尋ねたところ、43.3%が「ここ数年の症状と比べ重い」と回答した。「同じくらい」は39.4%、「軽い」は17.3%だった。

前年の記録的猛暑の影響で花粉が大量に飛んだ2011年の調査では「重い」43.2%、「同じ」48.7%、「軽い」8.1%。同社は「今シーズンもかなりつらい傾向にある」としている。

都府県別では、今春の症状が重い人の割合は神奈川県がトップの53.4%で、徳島県51.9%、愛知県51.5%が続いた。上位に関東が目立つ一方、花粉シーズン入りが遅い東北や北陸は下位が多かった。

症状が出始めた時期は、「3月上旬から」が最多の38.7%。2月下旬までに症状が出た人は計57.6%で、昨春調査での43.3%を上回った。2月上旬に一時的に暖くなったことで飛散が早まったとみられる。調査は8~12日に実施、花粉症に悩む約42,000人から回答を得た。【共同】MEDIFAXDigest3/25

4ワクチン定期接種化「増税時は一つの機会」

必要性は高いが任意接種になっているワクチンを、いつまでに定期接種に位置付けるのか、その前提となる財源をどうするのか。田村憲久厚生労働相と民主党の柚木道義氏が19日午前の衆院厚生労働委員会で議論を交わした。消費税率が8%に上がる14年4月が契機になるという柚木氏の主張に対し、田村厚労相は期限を決めずに不断的努力をするとの認識を示したが、消費増税時が「一つの大きな機会である」という認識は持っている」とも述べ、一定の理解を示した。

厚生労働省の予防接種部会が広く接種を促進するよう提言したが、審議中の予防接種法改正案に定期接種化するワクチンとして盛り込まれなかったのは、水痘、おたふくかぜ、成人用肺炎球菌、B型肝炎の4ワクチン。このほかロタウイルスワクチンは予防接種部会の作業チームが、医療費削減効果を含む評価をしている最中だ。

田村厚労相は、ロタについては評価結果を踏まえた上で、ほか4ワクチンは予防接種部会の提言を尊重し、定期接種化への努力をするという趣旨の答弁をした。ただ、地方自治体との調整や財源確保の問題があり「そこにめどを付けるという大きな仕事にこれから取り組む」と述べた。

MEDIFAXDigest 3/22



GlaxoSmithKline 生きる喜びを、もっと
Do more, feel better, live longer

定量噴霧式アレルギー性鼻炎治療剤

処方せん医薬品(注意-医師等の処方せんにより使用すること) 薬価基準収載

**アラミスト[®] 点鼻液27.5μg
56噴霧用**

**Allermist[®] 27.5μg 56metered
Nasal Spray** フルチカゾンフランカルボン酸
エステル点鼻液

※「効能・効果」、「用法・用量」、「用法・用量に関連する使用上の注意」、「禁忌を含む使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

製造販売元(輸入)
グラクソ・スミスクライン株式会社 グラクソ・スミスクラインの製品に関するお問い合わせ・資料請求先
TEL: 0120-561-007 (9:00~18:00/土日祝日および当社休業日を除く)
〒151-8566 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-6-15 GSKビル FAX: 0120-561-047 (24時間受付)

2010.5

平成25年度会議日程

5月19日(日):平成25年度第1回全理事会

6月30日(日):平成25年度第2回全理事会

平成25年度定時都道府県代議員会及び総会

(於)八重洲富士屋ホテル

9月15日(日)~16日(月):第38回臨床家フォーラム

16日 平成25年度第3回全理事会(移動)

(於)コクヨホール

12月1日(日):第4回全理事会

平成25年度第1回医会長協議会

平成26年

1月19日(日):平成25年度第5回全理事会

3月16日(日):平成25年度第6回全理事会